

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24298報)

2022年12月14日 8時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日8時6分、6号機取水口前の海面に油らしきものが浮いていることを協力企業作業員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 8時6分 ・発生場所 発電所構内 6号機取水口前港湾 ・発見者 協力企業作業員 ・確認範囲 約10m×5mの範囲で油らしきものが点在している状況で港湾内に留まっている ・漏えい継続の有無 なし ・双葉消防本部へ一般回線による情報提供時刻 8時30分 <p>【公表区分: その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1-(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24299報)

2022年12月14日10時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24298報でお知らせした、6号機取水口前の海面に油らしきものが浮いていることについて、その後の状況をお知らせします。</p> <p>油らしきものについては、9時40分に吸着マットにより回収したことを確認しました。</p> <p>【公表区分: その他続】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24300報)

2022年12月14日14時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 遼也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字大沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月14日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 12月13日] ・構内排水路分析結果 [採取日 12月13日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 12月9日、12月13日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 12月2日、12月13日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月14日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 12月10日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年12月14日 11:00現在

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 2.0 m ³ /h	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 19.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.8 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.6 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 27.3 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 22.9 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.8 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 28.9 °C	PCV温度 (TE-16-002): 21.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 22.8 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g	4.02 kPa g	0.45 kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.48 Nm ³ /h (JP-A): 15.75 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.60 Nm ³ /h RPV-B: 6.53 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.33 Nm ³ /h RPV-B: 7.97 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.7 m ³ /h	13.94 Nm ³ /h	22.39 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol%	A系: 0.13 vol% B系: 0.13 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.68E-04 Bq/cm ³ 検出限界値 4.42E-04 B系: 指示値 1.44E-03 Bq/cm ³ 検出限界値 3.79E-04	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	21.7 °C	21.3 °C		※5
FPC 封閉シリンダ 水位	3.61 m	4.29 m	2.96 m	26.2 X100mm

※1: 原子炉格納容器内の水素濃度は、(体積百分率)で測定する。(体積百分率)換算は、計測値に0.95を乗じた値とする。

※2: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※3: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※4: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※5: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

【留意事項】

各計測値については、計測やその後の事後処理の影響を受けて、通常の使用範囲条件を
超えているものもあり、正しく測定されていない高い信頼性のある計測値も存在している。
プラントの運転状況を踏まえて、このよう計測値の不確かさを考慮し、必要に応じて、
計測値から得られる情報を活用して、蒸気化の傾向にも着目して総合的に判断している。

3/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/12/13 07:06	< 4.0E+00	< 3.9E+00	< 5.2E+00
プロセス主建屋北東	2022/12/13 07:13	< 4.8E+00	< 4.5E+00	< 4.9E+00
プロセス主建屋南東	2022/12/13 07:17	< 4.3E+00	< 3.3E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/12/13 07:32	< 3.0E+00	< 4.8E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/12/13 07:27	< 5.7E+00	< 4.0E+00	4.1E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/12/13 07:36	< 4.8E+00	< 5.8E+00	< 4.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/12/13 07:22	< 4.0E+00	< 4.7E+00	< 3.9E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

〈例〉 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/12/13 07:15	4.4E+00	< 7.5E-01	1.4E+00
物揚場排水路	2022/12/13 07:10	< 3.5E+00	< 5.3E-01	7.4E-01
K排水路	2022/12/13 06:00	4.8E+00	< 3.5E-01	2.6E+00
BC排水路	2022/12/13 06:00	< 3.5E+00	< 7.2E-01	< 6.5E-01
D排水路	2022/12/13 07:20	< 3.5E+00	< 4.2E-01	< 5.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
- ・(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。
- ・採取当日の降雨量は 0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所 環境管理部

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)										
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他の放射性核種													
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/12/13 07:05	1.6E+04	< 3.6E-01	< 4.0E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 3.5E-01	< 2.1E+00	< 1.0E+00	< 1.0E+00	< 3.5E-01	2.1E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	2022/12/13 07:54	1.1E+06	< 5.6E+01	< 3.8E+04	< 2.3E+03	< 1.3E+03	9.4E+03	3.8E+05	< 1.3E+03	< 1.3E+03	9.4E+03	3.8E+05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	2022/12/13 06:55	1.2E+04	< 1.3E+00	< 1.6E+00	< 2.5E+01	< 1.2E+01	1.1E+01	4.1E+02	< 1.2E+01	< 1.2E+01	1.1E+01	4.1E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2022/12/13 06:50	2.5E+02	< 3.9E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.9E-01	3.4E+00	< 1.3E+00	< 1.3E+00	< 3.9E-01	3.4E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	2022/12/13 07:20	4.8E+02	< 7.7E-01	< 7.9E-01	< 1.2E+01	< 5.7E+00	5.2E+00	2.2E+02	< 5.7E+00	< 5.7E+00	5.2E+00	2.2E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	2022/12/13 07:40	2.2E+04	< 4.4E-01	< 3.3E-01	< 5.0E+00	< 1.8E+00	8.3E-01	3.5E+01	< 1.8E+00	< 1.8E+00	8.3E-01	3.5E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	2022/12/13 07:15	6.1E+04	< 4.9E-01	< 4.4E-01	< 5.3E+00	< 2.5E+00	1.3E+00	5.6E+01	< 2.5E+00	< 2.5E+00	1.3E+00	5.6E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	2022/12/13 07:10	8.0E+04	< 4.1E-01	< 3.5E-01	< 4.9E+00	< 1.8E+00	< 5.5E-01	4.6E+00	< 1.8E+00	< 1.8E+00	< 5.5E-01	4.6E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・後掲の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約70日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不符号 (<)：小検出
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.O.E±Oとは、O.O×10⁻²であることを意味する。
 ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み取ります。
 ※1 No.1-9は、取水管による検出であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値として高濃度に測定。

6/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号観測孔ポンクント 汲み上げ水	2022/12/13 06:38	1.4E+05	< 5.1E-01	< 3.9E-01	< 6.3E+00	< 2.6E+00	< 7.5E-01	4.2E+00	—
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,3号観測孔ポンクント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号観測孔ポンクント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検査日の平素期: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<)は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と示す。

・O.O.F.Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で、 0.31 と表記。

※2 No.2-5, No.3-5は、取水器による採取であるため、Y測定は実施せず。分析は参考値としてご報告にさせていただきます。



2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目										基準値 (ppm)											
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Ca-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射性核種													
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/12/09 07:35	1.1E+04	3.0E+04	< 2.3E-01	< 2.7E-01	< 2.1E+00	< 8.6E-01	< 2.6E-01	1.2E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	2022/12/09 07:00	1.1E+06	9.4E+02	< 5.2E+01	4.4E+01	< 2.3E+03	< 1.2E+03	6.4E+03	3.2E+05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 #1	2022/12/09 07:30	4.2E+01	7.2E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.6E+01
No.1-11	2022/12/09 07:53	2.3E+02	6.6E+02	< 2.4E-01	< 3.8E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	4.9E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	2022/12/09 07:15	5.0E+02	2.0E+04	< 1.0E+00	< 1.3E+00	< 1.5E+01	< 7.7E+00	6.7E+00	2.2E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	2022/12/09 07:05	2.1E+04	3.4E+03	< 2.9E-01	< 3.1E-01	< 3.9E+00	< 1.8E+00	9.5E-01	3.7E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	2022/12/09 07:10	8.8E+04	3.1E+02	< 4.1E-01	< 4.3E-01	< 6.2E+00	< 2.4E+00	1.5E+00	7.2E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	2022/12/09 07:40	8.5E+04	6.3E+03	< 2.9E-01	< 2.3E-01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	< 4.1E-01	3.3E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

核種毎の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約30年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不等号 (<)：小数の部分は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定対象物質および採取中止の原因は「-」と記す。

0.0E+00とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で91, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

H-3以外は底に付着が認められる。

※1 No.1-9は、検水器具による誤差であるため、V値は実測値です。全βは参考値としての数値に限定。

8/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号観測孔ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2022/12/09 07:20	5.8E+02	1.8E+03	< 3.3E-01	< 4.1E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	1.9E+00	-	-	-	-	-
No.2-7	2022/12/09 07:25	3.7E+02	1.8E+03	< 3.3E-01	< 2.9E-01	< 2.4E+00	< 1.0E+00	< 3.2E-01	1.4E+00	5.8E+02	-	-	-	-
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検体の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約30年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不審号 (<: 小検体) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象が中止の項目は「-」と記す。
 ・O.E±0とは、 0.0×10^{-1} で3.1, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ・H-3以外は検出されず。
 ※2 No.2-5, No.3-5は、汲み上げによる採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての状態に測定。

9/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内,放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/13 07:30	—	< 7.9E-01	< 6.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/13 07:25	1.5E+01	< 2.6E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/13 07:05	1.4E+01	< 3.5E-01	3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/13 07:00	< 1.3E+01	< 2.8E-01	7.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/12/13 06:55	< 1.3E+01	< 3.2E-01	1.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/12/13 08:00	1.3E+01	< 8.3E-01	< 7.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/13 06:53	1.7E+01	< 2.7E-01	< 3.3E-01
1F 港湾中央	2022/12/13 06:47	< 1.4E+01	< 2.1E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内東側	2022/12/13 06:50	< 1.2E+01	< 2.8E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内西側	2022/12/13 06:45	1.8E+01	< 3.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内北側	2022/12/13 06:42	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/12/13 06:56	1.6E+01	< 3.4E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

10/11

2022年12月14日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/02 08:00	—	—	< 7.0E-01	< 7.4E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/02 07:55	< 1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/02 07:32	< 1.2E+01	—	< 3.2E-01	< 3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/02 07:27	1.6E+01	—	< 2.2E-01	4.9E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (濾水壁前)	2022/12/02 07:22	< 1.3E+01	—	< 2.8E-01	1.9E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※ (注)	2022/12/02 08:20	1.3E+01	< 3.1E-01	< 9.2E-01	< 7.0E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/02 06:53	1.3E+01	—	< 2.8E-01	< 3.1E-01
1F 港湾中央	2022/12/02 06:47	< 1.2E+01	—	< 2.2E-01	4.1E-01
1F 港湾内東側	2022/12/02 06:50	1.5E+01	—	< 2.7E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内西側	2022/12/02 06:45	< 1.4E+01	—	< 3.4E-01	4.7E-01
1F 港湾内北側	2022/12/02 06:42	< 1.4E+01	—	< 3.5E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内南側	2022/12/02 06:56	< 1.4E+01	—	< 2.7E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3、Cs-134、Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	C 2022/12/10 08:16	1,080	東京電力	< 1.9E+00	7.6E+02	< 6.9E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.2E-01	8.1E+02	< 7.5E-01	< 5.7E-01	< 5.7E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	/
WHO飲料水水質ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	/

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24301報)

2022年12月14日14時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 12月12日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	7.1E+03	< 1.1E+02	1.5E+02	5.8E+03
	下流側	2.9E+03	4.2E+02	2.9E+01	1.2E+03
2号機放水路立坑水	上流側	1.1E+03	< 1.1E+02	1.4E+01	8.1E+02
	下流側	8.6E+01	< 1.1E+02	< 7.2E+00	3.1E+01

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは, $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所*1 議記訂正 正) 12月15日
設) 12月14日

Rev.1 発行日時

2022年12月14日 15時33分

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24300報)

2022年12月14日 14時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月14日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 12月13日] ・構内排水路分析結果 [採取日 12月13日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 12月9日、12月13日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 12月2日、12月13日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月14日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。12月15日*1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 12月10日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

2022年12月14日 11:00現在

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m ³ /h OS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h OS系: 1.7 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h OS系: 2.0 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 19.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.8 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.6 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 27.3 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 22.9 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.8 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 28.9 °C	PCV温度 (TE-16-002): 21.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 22.8 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g	4.02 kPa g	0.45 kPa g	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.48 Nm ³ /h (JP-A): 15.75 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.60 Nm ³ /h RPV-B: 6.53 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.33 Nm ³ /h RPV-B: 7.97 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol%	A系: 0.13 vol% B系: 0.13 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.68E-04 Bq/cm ³ 検出限界値 4.42E-04 B系: 指示値 1.44E-03 Bq/cm ³ 検出限界値 3.79E-04	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	21.7 °C	21.3 °C	※5	※5
FPC 対列ノック 水位	3.61 m	4.29 m	2.96 m	26.2 X100mm

※1: 福島第一原子力発電所の格納容器内水素濃度は、格納容器上部マニピュレータスロットから測定される場合がある。

※2: 格納容器内の放射能濃度は、格納容器内上部マニピュレータスロットから測定される。

※3: 格納容器内の放射能濃度は、格納容器内上部マニピュレータスロットから測定される。

※4: 全格納容器の放射能濃度は、格納容器内上部マニピュレータスロットから測定される。

(注: 格納容器)

格納容器については、放射線やその他の有害物質の汚染を受けて、通常の使用目的を達成できない状態にある。格納容器内には、放射線やその他の有害物質の汚染を受けている。格納容器内には、放射線やその他の有害物質の汚染を受けている。格納容器内には、放射線やその他の有害物質の汚染を受けている。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/12/13 07:06	< 4.0E+00	< 3.9E+00	< 5.2E+00
プロセス主建屋北東	2022/12/13 07:13	< 4.8E+00	< 4.5E+00	< 4.9E+00
プロセス主建屋南東	2022/12/13 07:17	< 4.3E+00	< 3.3E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/12/13 07:32	< 3.0E+00	< 4.8E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/12/13 07:27	< 5.7E+00	< 4.0E+00	4.1E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/12/13 07:36	< 4.8E+00	< 5.8E+00	< 4.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/12/13 07:22	< 4.0E+00	< 4.7E+00	< 3.9E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^Oであることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/12/13 07:15	4.4E+00	< 7.5E-01	1.4E+00
物置場排水路	2022/12/13 07:10	< 3.5E+00	< 5.3E-01	7.4E-01
K排水路	2022/12/13 06:00	4.8E+00	< 3.5E-01	2.6E+00
BC排水路	2022/12/13 06:00	< 3.5E+00	< 7.2E-01	< 6.5E-01
D排水路	2022/12/13 07:20	< 3.5E+00	< 4.2E-01	< 5.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<：小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/12/13 07:05	1.6E+04	< 3.0E-01	< 4.0E-01	< 2.9E+00	< 1.0E+00	< 3.5E-01	2.1E+00	-	-	-	-	-
No.1-6	2022/12/13 07:54	1.1E+06	< 5.6E+01	< 3.8E+01	< 2.3E+03	< 1.3E+03	9.4E+03	3.6E+05	-	-	-	-	-
No.1-8	2022/12/13 06:55	1.2E+04	< 1.3E+00	< 1.6E+00	< 2.5E+01	< 1.2E+01	1.1E+01	4.1E+02	-	-	-	-	-
No.1-9※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2022/12/13 06:50	2.5E+02	< 3.9E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.9E-01	3.4E+00	-	-	-	-	-
No.1-12	2022/12/13 07:20	4.8E+02	< 7.7E-01	< 7.9E-01	< 1.2E+01	< 5.7E+00	5.2E+00	2.2E+02	-	-	-	-	-
No.1-14	2022/12/13 07:40	2.2E+04	< 4.4E-01	< 3.3E-01	< 5.0E+00	< 1.8E+00	8.3E-01	3.5E+01	-	-	-	-	-
No.1-16	2022/12/13 07:15	8.1E+04	< 4.9E-01	< 4.4E-01	< 5.3E+00	< 2.5E+00	1.3E+00	5.8E+01	-	-	-	-	-
No.1-17	2022/12/13 07:10	8.0E+04	< 4.1E-01	< 3.5E-01	< 4.9E+00	< 1.8E+00	< 5.5E-01	4.6E+00	-	-	-	-	-

※ 採取時の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5.3年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約30年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小値のみは、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O:OE±Oと付、O:O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※ 1. No.1-9は、取水器による採取であるため、測定は実施せず、主計は参考値としてご留意ください。

6/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	2022/12/13 06:38	1.4E+05	< 5.1E-01	< 3.9E-01	< 6.3E+00	< 2.6E+00	< 7.9E-01	4.2E+00	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界値: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約9年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.D.F.とは、 $O_2 \times 10^{10}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※2 No.2-5, No.3-5は、汲み上げ水による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値として右欄に測定。



2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	分析項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	その他(観測下限値)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2022/12/09 07:35	1.1E+04	3.0E+04	< 2.3E-01	< 2.7E-01	< 2.1E+00	< 8.6E-01	< 2.6E-01	1.2E+00	-		
No.1-6	2022/12/09 07:00	1.1E+06	9.4E+02	< 5.2E+01	4.4E+01	< 2.3E+03	< 1.2E+03	8.4E+03	3.2E+05	-		
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
No.1-9 ※1	2022/12/09 07:30	4.2E+01	7.2E+02	-	-	-	-	-	-	8.6E+01		
No.1-11	2022/12/09 07:53	2.3E+02	6.6E+02	< 2.4E-01	< 3.8E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	4.9E+00	-		
No.1-12	2022/12/09 07:15	5.0E+02	2.0E+04	< 1.0E+00	< 1.3E+00	< 1.5E+01	< 7.7E+00	6.7E+00	2.2E+02	-		
No.1-14	2022/12/09 07:05	2.1E+04	3.4E+03	< 2.9E-01	< 3.1E-01	< 3.9E+00	< 1.8E+00	9.5E-01	3.7E+01	-		
No.1-16	2022/12/09 07:10	8.8E+04	3.1E+02	< 4.1E-01	< 4.3E-01	< 6.2E+00	< 2.4E+00	1.5E+00	7.2E+01	-		
No.1-17	2022/12/09 07:40	4.5E+04	6.9E+03	< 2.9E-01	< 2.3E-01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	< 4.1E-01	3.3E+00	-		

・検出値の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出下限未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.0E+0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、採取箱による誤差であるため、(測定)は実施せず、全βは参考値としてお返しに予定。

8/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)		
1,2号観測孔ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2022/12/09 07:20	5.8E+02	1.8E+03	< 3.3E-01	< 4.1E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	1.5E+00	-	-	-
No.2-7	2022/12/09 07:25	3.7E+02	1.8E+03	< 3.3E-01	< 2.9E-01	< 2.4E+00	< 1.0E+00	< 3.2E-01	1.4E+00	5.8E+02	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測孔 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測孔 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・核燃料の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約28年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・本番号 (< ; 小数点) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」とする。

・O.O.E±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外の値にお知らせ済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、検水器による採取であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値としての値後に測定。

9/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/13 07:30	—	< 7.9E-01	< 6.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/13 07:25	1.5E+01	< 2.6E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/13 07:05	1.4E+01	< 3.5E-01	3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/13 07:00	< 1.3E+01	< 2.8E-01	7.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (取水壁前)	2022/12/13 06:55	< 1.3E+01	< 3.2E-01	1.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/12/13 08:00	1.3E+01	< 8.3E-01	< 7.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/13 06:53	1.7E+01	< 2.7E-01	< 3.3E-01
1F 港湾中央	2022/12/13 06:47	< 1.4E+01	< 2.1E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内東側	2022/12/13 06:50	< 1.2E+01	< 2.8E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内西側	2022/12/13 06:45	1.8E+01	< 3.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内北側	2022/12/13 06:42	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/12/13 06:56	1.6E+01	< 3.4E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

10/11

2022年12月14日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/02 08:00	—	—	< 7.0E-01	< 7.4E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/02 07:55	< 1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/02 07:32	< 1.2E+01	—	< 3.2E-01	< 3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/02 07:27	1.6E+01	—	< 2.2E-01	4.9E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遠水壁前)	2022/12/02 07:22	< 1.3E+01	—	< 2.8E-01	1.9E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/12/02 08:20	1.3E+01	< 3.1E-01	< 9.2E-01	< 7.0E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/02 06:53	1.3E+01	—	< 2.8E-01	< 3.1E-01
1F 港湾中央	2022/12/02 06:47	< 1.2E+01	—	< 2.2E-01	4.1E-01
1F 港湾内東側	2022/12/02 06:50	1.5E+01	—	< 2.7E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内西側	2022/12/02 06:45	< 1.4E+01	—	< 3.4E-01	4.7E-01
1F 港湾内北側	2022/12/02 06:42	< 1.4E+01	—	< 3.5E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内南側	2022/12/02 06:56	< 1.4E+01	—	< 2.7E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン ^{※1}			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(注)地下水/バイパス排水の翌期採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サブドレン)	2022/12/10 08:16	1,080	東京電力	< 1.9E+00	7.6E+02	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.2E-01	8.1E+02	< 7.5E-01	< 5.7E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水暫行ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規程に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

※1 訂正 正) 12月15日
誤) 12月14日

Rev.1 発信日時 2022年12月14日 15時33分

Rev.2 発信日時 2022年12月14日16時00分 ※2 様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24300報) 第24302報

2022年12月14日 14時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月14日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 12月13日] ・構内排水路分析結果 [採取日 12月13日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 12月9日、12月13日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 12月2日、12月13日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月14日12月15日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。(12月15日)※1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 12月10日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年12月14日 11:00現在

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 2.0 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 19.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.8 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.6 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 27.3 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.0 °C RPV/巻部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 22.9 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.8 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HW/H2-16B (TE-16-114G#1): 28.9 °C	PCV温度 (TE-16-002): 21.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 22.8 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g	4.02 kPa g	0.45 kPa g	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	RPV (RV/H-A): - Nm ³ /h (RV/H-B): 15.48 Nm ³ /h (JP-A): 15.75 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.60 Nm ³ /h RPV-B: 6.53 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.33 Nm ³ /h RPV-B: 7.97 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	26.7 m ³ /h A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	13.94 Nm ³ /h A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol%	22.39 Nm ³ /h A系: 0.13 vol% B系: 0.13 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.68E-04 Baq/cm ³ 検出限界値 4.42E-04 B系: 指示値 1.44E-03 Baq/cm ³ 検出限界値 3.79E-04	A系: 指示値 ND Baq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND Baq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND Baq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND Baq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	21.7 °C	21.3 °C	※5	※5
FPC 対称-γ 999 水位	3.61 m	4.29 m	2.96 m	26.2 X100mm

※1: 格納容器内の水素濃度は、(A)系及び(B)系で測定される。 (B)系は格納容器内の水素濃度を測定する。 (A)系は格納容器内の水素濃度を測定する。 (B)系は格納容器内の水素濃度を測定する。

※2: 格納容器内の放射能濃度は、(A)系及び(B)系で測定される。 (A)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。 (B)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。

※3: 格納容器内の放射能濃度は、(A)系及び(B)系で測定される。 (A)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。 (B)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。

※4: 格納容器内の放射能濃度は、(A)系及び(B)系で測定される。 (A)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。 (B)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。

※5: 格納容器内の放射能濃度は、(A)系及び(B)系で測定される。 (A)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。 (B)系は格納容器内の放射能濃度を測定する。

【重要事項】

各社関係者に対しては、格納容器内の放射能濃度の測定結果を受けて、測定の使用資格条件を
超えているものもあり、正しく測定されていぬ可能性のある計測器も存在している。
プラントの状態を把握するため、このよう計測器の不確かさを考慮し、放射能
の計測器から得られる情報を使用して放射能の傾向にも着目して判断している。

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/12/13 07:06	< 4.0E+00	< 3.9E+00	< 5.2E+00
プロセス主建屋北東	2022/12/13 07:13	< 4.8E+00	< 4.5E+00	< 4.9E+00
プロセス主建屋南東	2022/12/13 07:17	< 4.3E+00	< 3.3E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/12/13 07:32	< 3.0E+00	< 4.8E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/12/13 07:27	< 5.7E+00	< 4.0E+00	4.1E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/12/13 07:36	< 4.8E+00	< 5.8E+00	< 4.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/12/13 07:22	< 4.0E+00	< 4.7E+00	< 3.9E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/12/13 07:15	4.4E+00	< 7.5E-01	1.4E+00
物揚場排水路	2022/12/13 07:10	< 3.5E+00	< 5.3E-01	7.4E-01
K排水路	2022/12/13 06:00	4.8E+00	< 3.5E-01	2.6E+00
BC排水路	2022/12/13 06:00	< 3.5E+00	< 7.2E-01	< 6.5E-01
D排水路	2022/12/13 07:20	< 3.5E+00	< 4.2E-01	< 5.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^Oであることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目										備考		
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他の核種放射線					
No.0-1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-1-2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-4		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1	2022/12/13 07:05	1.6E+04	< 3.0E-01	< 4.0E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 3.5E-01	2.1E+00	—	—	—	—	—	—
No.1-6	2022/12/13 07:54	1.1E+06	< 5.6E+01	< 3.8E+01	< 2.9E+03	< 1.3E+03	9.4E+03	3.6E+05	—	—	—	—	—	—
No.1-8	2022/12/13 06:55	1.2E+04	< 1.9E+00	< 1.6E+00	< 2.5E+01	< 1.2E+01	1.1E+01	4.1E+02	—	—	—	—	—	—
No.1-9※1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-11	2022/12/13 06:50	2.5E+02	< 3.9E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.9E-01	3.4E+00	—	—	—	—	—	—
No.1-12	2022/12/13 07:20	4.8E+02	< 7.7E-01	< 7.9E-01	< 1.2E+01	< 5.7E+00	5.2E+00	2.2E+02	—	—	—	—	—	—
No.1-14	2022/12/13 07:40	2.2E+04	< 4.4E-01	< 3.3E-01	< 5.0E+00	< 1.8E+00	8.3E-01	3.5E+01	—	—	—	—	—	—
No.1-16	2022/12/13 07:15	8.1E+04	< 4.9E-01	< 4.4E-01	< 5.3E+00	< 2.5E+00	1.3E+00	5.8E+01	—	—	—	—	—	—
No.1-17	2022/12/13 07:10	8.6E+04	< 4.1E-01	< 3.5E-01	< 4.9E+00	< 1.8E+00	< 5.5E-01	4.6E+00	—	—	—	—	—	—

・核種の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<)：小なりは、検出限界未満(ND)を示す。
 ・測定対象および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.E±Oとは、O×10^Oであることを示す。
 ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み取る。
 ※1 No.1-9は、検水器による採取であるため、測定は実施せず。全βは参考値としてご留意ください。

6/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	2022/12/13 06:38	1.4E+05	< 5.1E-01	< 3.9E-01	< 6.3E+00	< 2.6E+00	< 7.5E-01	4.2E+00	—
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検量線の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不秀号 (<:小送り) は、検出限界未満 (MD) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.C.E±0とは、 $O \times 10^{O.C.E}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

※2 No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値として別途に測定。



2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採集地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)										
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射性核種												
No.0-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/12/09 07:35	1.1E+04	3.0E+04	< 2.3E-01	< 2.7E-01	< 2.1E+00	< 8.6E-01	< 2.6E-01	1.2E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	2022/12/09 07:00	1.1E+06	9.4E+02	< 5.2E+01	4.4E+01	< 2.3E+03	< 1.2E+03	8.4E+03	3.3E+05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 *1	2022/12/09 07:30	4.2E+01	7.2E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.6E+01
No.1-11	2022/12/09 07:53	2.3E+02	6.6E+02	< 2.4E-01	< 3.8E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	4.9E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	2022/12/09 07:15	5.0E+02	2.0E+04	< 1.0E+00	< 1.3E+00	< 1.5E+01	< 7.7E+00	6.7E+00	2.2E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	2022/12/09 07:05	2.1E+04	3.4E+03	< 2.9E-01	< 3.1E-01	< 3.9E+00	< 1.8E+00	9.5E-01	3.7E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	2022/12/09 07:10	6.8E+04	3.1E+02	< 4.1E-01	< 4.3E-01	< 6.2E+00	< 2.4E+00	1.5E+00	7.2E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	2022/12/09 07:40	6.5E+04	6.3E+03	< 2.9E-01	< 2.3E-01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	< 4.1E-01	3.3E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検査開始の半減期：H-3(初12年), Mn-54(初31.0日), Co-60(初5年), Ru-106(初370日), Sr-125(初2年), Cs-134(初2年), Cs-137(初30年)
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (MD) を表す。
 ・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。
 ・O.O.E.C.と注, O.O.×10⁰であることを意味する。
 ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・H-3以外は疑に差別は含まない。
 ※1 No.1-9は、排水圏による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての要後に測定。

8/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2022/12/09 07:20	5.8E+02	1.8E+03	< 3.3E-01	< 4.1E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	1.5E+00	-	-	-	-	-
No.2-7	2022/12/09 07:25	3.7E+02	1.0E+03	< 3.3E-01	< 2.9E-01	< 2.4E+00	< 1.0E+00	< 3.2E-01	1.4E+00	5.8E+02	-	-	-	-
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・核種別の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・本番号 (<:小総り) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出中止の項目は「-」と示す。

・O.O.E.H.Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^{+1}$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^{+0}$ で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外に既知の核種は含まれていない。

※2 No.2-5、No.3-5は、取水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値として5桁後に測定。

9/11

2022年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/13 07:30	—	< 7.9E-01	< 6.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/13 07:25	1.5E+01	< 2.6E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/13 07:05	1.4E+01	< 3.5E-01	3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/13 07:00	< 1.3E+01	< 2.8E-01	7.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/12/13 06:55	< 1.3E+01	< 3.2E-01	1.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/12/13 08:00	1.3E+01	< 8.3E-01	< 7.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/13 06:53	1.7E+01	< 2.7E-01	< 3.3E-01
1F 港湾中央	2022/12/13 06:47	< 1.4E+01	< 2.1E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内東側	2022/12/13 06:50	< 1.2E+01	< 2.8E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内西側	2022/12/13 06:45	1.8E+01	< 3.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内北側	2022/12/13 06:42	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/12/13 06:56	1.6E+01	< 3.4E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

10/11

2022年12月14日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/02 08:00	—	—	< 7.0E-01	< 7.4E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/02 07:55	< 1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/12/02 07:32	< 1.2E+01	—	< 3.2E-01	< 3.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/02 07:27	1.6E+01	—	< 2.2E-01	4.9E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遊水壁前)	2022/12/02 07:22	< 1.3E+01	—	< 2.8E-01	1.9E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※ (注)	2022/12/02 08:20	1.3E+01	< 3.1E-01	< 9.2E-01	< 7.0E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/02 06:53	1.3E+01	—	< 2.8E-01	< 3.1E-01
1F 港湾中央	2022/12/02 06:47	< 1.2E+01	—	< 2.2E-01	4.1E-01
1F 港湾内東側	2022/12/02 06:50	1.5E+01	—	< 2.7E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内西側	2022/12/02 06:45	< 1.4E+01	—	< 3.4E-01	4.7E-01
1F 港湾内北側	2022/12/02 06:42	< 1.4E+01	—	< 3.5E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内南側	2022/12/02 06:56	< 1.4E+01	—	< 2.7E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3、Cs-134、Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(注)地下水/バイパス排水の定期採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年12月14日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一階貯水タンク (サブドレンタンク)	C 2022/12/10 08:16	1,080	東京電力	< 1.9E+00	7.6E+02	< 6.9E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北電力福島保安(株)	< 3.2E-01	8.1E+02	< 7.5E-01	< 5.7E-01	< 5.7E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水水质ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

・核種の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])